

令和3年度市民還元事業について

◎歳入 (単位 千円)

	予算額	前年度	前年度比	
ごみ処理手数料収入	947,353	925,078	22,275	指定袋・粗大ごみ処理券による手数料収入

◎歳出

	予算額	前年度	前年度比	概要・主な事業
指定袋作製等経費	447,743	415,153	32,590	指定袋・粗大ごみ処理券作製経費、保管・配送、販売委託
【市民還元事業】	499,610	509,925	▲ 10,315	※(1)～(4)までの合計額
(1) 資源循環型社会促進策	344,991	341,129	3,862	ごみ減量・リサイクル推進及び地域環境の美化 ○分別意識の向上と啓発 ○食ロス削減推進事業 ○クリーンにいがた推進員育成事業 ○ごみ集積場設置等補助金 ○地域清掃等への助成 ○古紙資源化の一層の推進(集団資源回収運動費) ○家庭系生ごみ減量化の推進 ○古布・古着の拠点回収費
(2) 地球温暖化対策	36,919	44,020	▲ 7,101	○環境教育・環境学習に対する支援 ○バイオマス活用 ○にいがた未来ポイント事業 ○防犯灯設置補助金(LED灯導入促進)
(3) 地域コミュニティ活動の振興	114,416	124,776	▲ 10,360	○ごみ出し支援 ○地域活動への支援(地域活動補助金・防犯カメラ整備補助金)
(4) 未来投資に向けた取り組み	3,284	※R3年度より	3,284	○新潟市環境優良事業者等認定制度 ○低炭素社会に向けた人材育成と実践

プラスチック排出抑制の取り組み

○バイオマスプラスチックを使用したごみ指定袋

- ・R3年度の導入に向けて、安定供給を基本とした導入形態、発注手法、バイオ原料などを調査・検討中
- ・各種バイオ原料のうち、海外生産・輸入に依存するものがあるが、コロナ禍も重なり、調達リスクが課題

<モニター調査概要>

- 令和2年11月 193人から回答
- コメ原料のバイオマスプラスチックを使用したモニター用ごみ指定袋を使用(含有率10%5枚、25%5枚の2種類)
- 上位2位(良い・まあ良い)の回答割合
- 総合評価
 - ・指定袋10% 9割を超え
 - ・指定袋25% 約75%
- 使用評価
 - ・指定袋10% 全項目で8割を超え
 - ・指定袋25% 扱いやすさは6割



「SDGs 未来都市」に挑戦!
(R3年度提案予定)

食品ロス削減推進事業

○ターゲットに応じた啓発

- ・未就学児、小学校低学年生向け出前授業
※令和2年度作成の啓発映像使用、食品ロスに関連した啓発グッズ配布
- ・学生向けエコレシピコンテスト(農林水産部)
- ・市民向け啓発講座の実施(消費生活センター)
- ・フードバンク活動の支援(福祉部)

○食品ロス調査・検証

- ・ごみ・資源組成調査
※家庭系・事業系可燃ごみ分のみ
- ・事業所(食品スーパー、小売店等)向け実態調査

新潟県食品ロス削減推進協議会設立(R3.6月)

- ・学識経験者、食品・小売などの業界団体、行政(新潟市)などで構成
- ・県食品ロス削減推進計画策定 (R3年度末)

新潟市環境優良事業者等認定制度

SDGsのゴールやターゲットを意識し、温室効果ガスの削減やごみの減量などの環境課題に積極的に取り組む企業や団体を認定し、その活動を応援する制度(令和3年7月1日から開始)

○部門

- ①3R推進部門
- ②ゼロカーボン部門
- ③食品ロス削減部門(令和4年度開始予定)

○認定メリット

- ・ONEカンパニー「ロゴマーク」の使用によるイメージアップ
- ・環境に配慮した事業者・団体として市が積極的にPR
- ・市発注業務においてプロポーザル方式・総合評価競争入札で加対象となる場合あり



ESD環境学習支援事業「がたっこプロジェクト」

小中学校等における探求型の環境学習の推進と、SDGsの考え方を踏まえた脱炭素社会の形成を目的に、ESDやファシリテーションの基礎を学んだ大学生による、環境学習の授業デザインや運営支援を実施する事業。

○小中学校の環境学習を支援する

- 学生ファシリテーター育成
- ・R3年度新規参加学生への養成講座の実施
- ・R2年度からの継続参加学生へのスキルアップ伴走支援

○学校現場における授業実践

- ・モデル校(小学校1校)での実践の伴走支援
- 実施事例・成果の見える化
- ・リーフレット、サイト作成



SDGsの達成、脱炭素社会の実現

資源循環型 脱炭素社会の形成